【映画「JUN AI」シリーズ略歴】

「地球をひとつの家族にすること」というひとりの女性＝小林桂子(現・総監督)の心に描かれたビジョンから映画「JUN AI」シリーズは生まれました。

2007年に銀座シネパトスで日中共同製作映画「純愛」として初公開。

1945年の中国大陸を舞台とした愛の物語が誕生しました。

ウィークリーピア満足度ランキング1位、キネマ旬報にて「心に染みる本物の映画」と称され、NHKのBS1※「今日の世界」で報じられ、4週間で6000名が足を運んでいます。※当時はNHK衛星1

その翌年2008年には中国全土の映画館で公開、中国国営放送での中国全土オンエアとネット配信など、これまでに中国語圏では推定1000万人が鑑賞しています。

<主な受賞歴・活動実績>

- 2007年、2009年 モナコ国際映画祭 最多6部門受賞
 - ↳ ベストプロデューサー賞(小林桂子)
 - ↳ エンジェルピースアワード／インディペンデントスピリッツ賞
 - ↳ 特別グランプリ賞(2009年)
- 2008年 UNHCR主催 難民映画祭 正式出品
- 2010年 アン王女劇場(BAFTA)一初の日中英3カ国語同時字幕版の国際上映交流会
- 2011年 英国貴族院 ロードキング議員主催上映会
- 2012年 セドナ国際映画祭
 - ↳ 観客投票・最優秀長編作品賞／審査員投票・文化の架け橋賞
- 2017年 英国ロムフォード映画祭
 - ↳ 最優秀主演女優賞／最優秀映画音楽賞ほか全部門ノミネート
- 2018年 国連大学ウ・タントホール 上映会(五井平和財団主催、UNHCR共催)

2019年、日本と韓国との共同製作チームが誕生し、「純愛未来編プロジェクト」が開始されました。純愛未来編とは映画「JUN AI」シリーズの次回作・完結編であり、実際に映画を通じて生まれた「純粋な愛による人と人とのつながり」をモデルに、人類が世界を変えていく未来の物語の製作がはじまっています。

今回、YouTubeで公開する「JUN AI最新版ーアースライズエディション」には、すでに純愛未来編として製作したシーンが収録されており、公開当初(1時間52分)から約20分間の追加シーンや創立者メッセージが収録されているエクステンデッド版となります。

【商業映画ではなく、社会芸術映画】

「JUN AI」シリーズは、社会的有益性を最優先する映画ムーブメントで、映画というアート作品を通じて「純粹で利他的なつながり」を現実社会に生み出すことを目的としています。

商業映画が「新作主義」に基づき新しい作品だけに焦点を当てるのに対し、「JUN AI」では「本物主義」を貫き、「目新しさよりも本物の力」を高めるために、追加シーンや続編を製作し、過去のシーンも含めて映画の力を継続的に高めていきます。

18年目を迎える現在も、広告や宣伝に頼らず、感動を受けた観客とのつながり(JUN AI Bond)を育みながら、ムーブメントは年々力を増していき、いつしか「映画界のサグラダファミリア」と称されるようになっていきます。

また、映画とともに、子供たちへの教育支援も活動の軸としており、NPO法人純愛国際平和基金を窓口として、中国に小学校と幼稚園の設立支援を実施、世界各地の教育機関で芸術鑑賞教室を開催しています。

【多言語字幕と複数言語同時字幕】

多言語字幕とは日本語、英語(映画祭の公用語)、中国語、台湾語、フランス語、スペイン語、ブラジリアンポルトガル語の8カ国語に加え、ロシア語、ウクライナ語、ヘブライ語、アラビア語など、本編の登場人物が使用する言語、世界に広く普及する言語、隣国同士で対立状態にある言語などを優先的に製作していく予定です。

また、リアル上映会向けに現在も実施している「複数言語同時字幕(マルチサブタイトル)」での「アースライズ版の製作」を行います。これは日英2カ国語同時字幕、日中韓英4カ国語同時字幕など、ひとつのスクリーンに複数の字幕を流すことで、同じ会場で異なる言語を解する方々の交流を可能にしており、英国アン女王劇場での初披露において社会活動家に高く評価され、翌年の英国貴族院での上映会が実現しています。

【「純愛未来編」共同創造プロジェクト】

『純愛未来編』では、JUN AIという集合意識が地球全体に広がったときにどんな未来が生まれるのかを描いています。この壮大なビジョンは、JUN AI Movie & Movementでの実際の体験と発見をもとに展開されます。

『純愛未来編』はJUN AIシリーズの完結編であり、通常続編とは大きく異なります。その違いは、映画のモデルとなるのが「今、映画『JUN AI』を鑑賞し、つながりを感じた皆様」である点です。つまり、このプレスリリースやYouTubeでJUN AIとつながった全ての方々が、この映画の共同創造の一員となっていきます。

今回公開される『JUN AI最新版』には、製作中の『純愛未来編』の短編シーンが収録されています。特に「韓国で行われたフリーハグのシーン」は、実際にフリーハガーの桑原功一さんと愛花さんが行ったものを物語の一部として収めており、すでに鑑賞した皆さまから感動のメッセージをいくつもいただいています。

【恩贈りプログラム = 世界を変える生きた仕組み】

映画『JUN AI』に描かれる「純粋な愛」は、悲しみに隔てられていた日本人と中国人の心をつなぎ、「奇跡のような光景」を生み出しました。その感動は観客の行動を呼び起こし、「恩贈り(おんおくり)」という独自のギフトプログラムへと発展していきました。

恩贈りとは、“誰かから受け取った思いや体験を、次の誰かへと贈りつないでいく”という、日本に古くから根づく精神文化をベースにした実践的なアクションです。

映画『ペイ・フォワード 可能の王国(邦題)』に描かれた「助け合いの連鎖」が現実の社会運動として広がったように、私達人間には無条件の愛から人とつながり、世界を変える力が備わっています。

2009年、鑑賞者に「再招待券(赤い純愛パスポート)」を贈ったことがきっかけで、招待された方が自発的に別の方の参加費をギフトしてご招待されるケースが数多く生まれ、それを誰もができるように「恩贈り用招待券(白い純愛パスポート)」が誕生しています。。このようにして、感動のリレーはリアルな上映会をつなぎ、さらにはオンラインへと拡がり、今、YouTube公開を通じた新たな恩贈りのステージへと移行しています。

感動を感動で終わらせず、人と人とのつながりというもうひとつの作品を生み出す。

それが、JUN AI Movie & Movementの「恩贈りプログラム」であり、その根底にあるのは私たち人間が備える眠れる社会原理、世界を変える生きた仕組み※、愛という利他的な意識の状態からひとりひとりを起点として生まれるつながりの力です。

※この生きた仕組みが顕在化していく時代の流れを「縁起革命」、それを動かす仕組みを「ソーシャルボンディングプログラム」と捉えています。ご関心のある方には是非、ご案内できればと考えています。

【What is JUN AI?】

地球の上にひとつの絆 / One Bond on Earth

アースライズ(地球の出)を目にした人類から地球意識が生まれ、
私達は本来から備える愛という意識の状態です。

人類の新しい集合意識、
誰の中にもあり、誰もが起点となれる思いやりの心の連鎖、
そんな名付けようもない集合意識、意識の状態、
時には人智を超えた奇跡を生むような莫大な力の源を、
私達は「JUN AI」と呼ぶこととし、ひとつの映画に込めました。

映画を鑑賞される皆さまと共に創造したいのは、
この「JUN AI」という意識の状態の目覚め、広がりであり、
「JUN AI」という集合意識でつながる「あらゆる違いを超えたひとつの絆」です。

ひとつの映画シリーズのメインタイトルとすることで、
映画を鑑賞し心に響かれた世界中の皆さまが、
耳慣れない「JUN AI」という言葉に触れることをきっかけに、
今、起きている人類という種の日覚め、つながりの連鎖に気づき、
誰にでも世界を変えていく力があることを確信してほしい。

それが私達が長い間、ひとつの映画を育て続けている理由です。

公式リンク・お問い合わせ

- 公式HP: <https://jun-ai.biz>
- お問い合わせ:
JUN AI Movie & Movement / NPO法人純愛国際平和基金
担当: 奥山省吾・柴田
住所: 東京都大田区田園調布1-10-26-408
メール: junaiproject@gmail.com
電話: 03-3721-3677